

五六財政行詰りノ月下ノ状況ニテハ延計ニ不可能ナルニト  
承知セシレシレ

12) 三月十六日工場主ヨリノ申出ニ依リ午後六時頃ヨリ安子席一  
川幸次外三名社長定ヲ訪向シ種々折衝ノ結果工場主ヨリ全  
員解雇ハ一時取消シ半数位ノ解雇ヲ認メシレ度シト申述ハシ  
列ル

13) 三月十八日午後八時頃前記額觸レノ従業員側代表者ハ社費ニ  
訪ヒ解雇ハ最大七名位ニセシレ度旨要求社長ハ最少十二名  
以下ヲ認メ折合ス決裂  
三 将来ノ豫想

半濁同天氣勢揚ラス会社側ニ焦燥中ニ在リ今ニ三回ノ全見  
ニテ解決スヘク

—以上—

労働部第一一七号

昭和六年三月廿八日

共産党書記長 水谷山崎



内務大臣 安達謙藏 殿

社会局長 吉田 殿

各廳 林典 某 官 殿 (八大臣有某)

○ 月本ヨリ三書所共創筆跡ニ關シテ 再三報………解決

高古川 組合側代表ノ不測ノ見 概シテ三ヶ月在東京ノ滞留ヲ要ス  
折衝ノ結果ニ於テ三月廿八日ヨリ解決ス

標記工場労働者等ノ左記ノ申出ノ解決後係及原及申(通)根根也  
一 労働部側